

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 9月30日更新

事務事業名		地域づくり団体活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	中村 誓丞
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	岩田 建一
	基本事業	40	地域づくりネットワークの推進			所属班	政策企画班	(内線)	1245
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 10331	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域づくり団体やNPOの活動に関する相談・支援並びに情報提供を行う事業で、本市では平成20年12月に合志市地域づくりネットワーク(17団体)を発足し、その活動を支援している。(平成22年4月現在 14団体) 上部団体である火の国未来づくりネットワーク(平成6年に地域づくり団体熊本県協議会として発足し、平成18年に改名)と連携しており、平成21年度までに火の国未来づくりネットワークに登録している団体は、こうし隊、まちなっとセラヴィ、すずかけ台魅力化委員会、すみっこの台所、NPO生ゴミ研究会、杉並台ホテルを育てる会、NPO法人ワークバランス協議会、横町環境みどりの会、NEXTEPの9団体である。また、平成22年度末で熊本県に認証されている合志市内のNPO法人は9団体ある。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・火の国未来づくりネットワークの会議等への参加・地域づくり団体の会合等への参加・地域づくり研修会への参加・合志市地域づくりネットワークの総会、定例会、役員会への参画
【主な予算費目】	職員手当等、旅費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	会員から、地域づくりネットワークの規約に目的は記載してあるが、より具体的な目標が定まっていないとの意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・火の国未来づくりネットワーク総会、研修会及び菊池ブロック会議参加 ・こうし隊の会合参加・情報交換・合志市内地域づくりネットワーク総会・定例会、役員会への参画・地域づくり団体全国研修交流会(青森大会)への参加・次年度開催予定の地域づくり団体全国研修交流会(熊本大会)準備への支援	・火の国未来づくりネットワーク総会、研修会及び菊池ブロック会議参加・こうし隊の会合参加・情報交換・合志市内地域づくりネットワーク総会、定例会、役員会への参画・平成23年度地域づくり団体全国研修交流会(熊本大会) 菊池地域分科会開催への支援、参画
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 会議等の開催・参加回数	回 地域づくり団体全国研修交流会参加旅費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
地域づくり団体	(単位) ア 地域づくり団体数 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
活動の幅が広がる。	(単位) ア 市のネットワーク参加団体数 団体
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
合志市地域づくりネットワークに登録された団体数により、活動の大きさが把握できるので成果指標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込		
① 活動指標	ア	回	18	25	25	31	20	20	20		
② 対象指標	ア	団体	39	39	39	39	39	39	39		
③ 成果指標	ア	団体	17	17	19	14	17	20	25		
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
			一般財源	千円	100	122	647	506	563	206	206
		(A) 事業費計	千円	100	122	647	506	563	206	206	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	214	201	288	190	190	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	42	66	166	154	248	150	150	
		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	
		延べ業務時間	時間	150	380	400	320	360	350		
	(B) 人件費計	千円	600	1,512	1,592	1,318	1,483	1,442	1,442		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	700	1,634	2,239	1,824	2,046	1,648	1,648		

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	地域づくり団体活動支援事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 合志市地域づくりネットワークは、地域づくり団体やNPOの相互交流の場であるため、具体的な事業は定めていない。加入団体にメリットがないように理解されるため、自発的な活動の支援や市のまちづくりと一緒に考えましようと言っても、加入団体の増加にはつながっていない。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成23年度に九州新幹線全線開業を記念して、地域づくり団体全国研修交流会が熊本で開催される。本市も分科会地として手を挙げ、これを契機として地域づくりの活性化を進めていくように計画しているが、これからのまちづくりに市民参画や協働が必要ということ行政も含め市民がどれくらい理解してもらえるかが課題。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 平成20年12月に設立された合志市地域づくりネットワークでは、加盟した団体の相互交流や行政との連携が期待され、成果の向上余地がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 負担金は、県ネットワークの基準に基づくため削減の余地なし。補助金は、事業遂行のための最小限の予算であるため削減余地なし。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務しか行っていないため、削減の余地なし。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 協働によるまちづくり推進のため、公平公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 規約にも、当分の間企画課が事務局を担うことになっているが、地域づくり団体に地域づくりネットワークの事務局をお願いすることになれば負担が減るが、現状では大きな負担があるため困難である。 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合志市地域づくりネットワークの支援を主に行ってきたが、定例会の出席率が少し低い。市地域づくりネットワークの推進は、基本事業の1つで市民参画のまちづくりの推進の大きな柱になっているため、自治基本条例の理念に基づき、いかに市民・議会・行政が協働し、まちづくりを進めていくかが課題である。また、支援の内容についても検討する必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 平成23年5月開催予定の地域づくり団体全国研修交流会 (熊本大会) 菊池地域分科会の成功に向け取り組みを進めることで、加入団体の増加を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						